

夏休み中の子どもを交通事故から守る重点目標に、自転車の2人乗り禁止が取りまげられた。釣り、水泳に行くほまいなどまだまだ徹底していない。親や先生の注意を無視することも無自覚が要因のようだ。きめられたことは必ず守るしつけのきびしさがのぞましい。

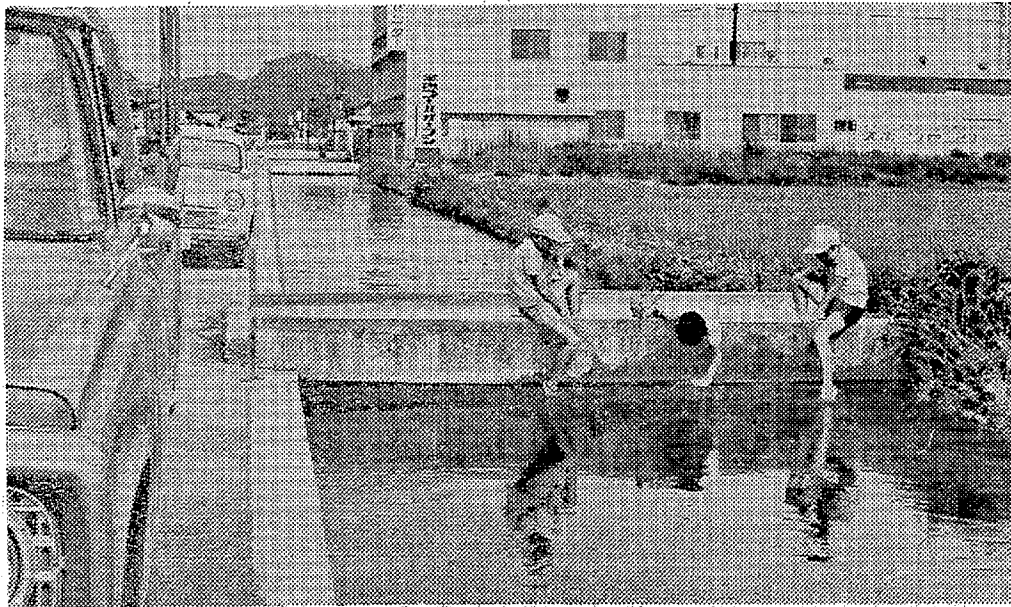


## 水難、交通事故をゼロに

21日に夏休みにいってから連日30度以上のうだる蒸さ、体をきたえる夏休み＝海に山に子どもたちのエネルギーが発散する。解放感から危険も忘れて……ことしにはいつの水死事故は12人、うち子どもは9人、猛暑と比例して交通事故もしきり、いずれも決められた事を守らないための人為的な事故が多い。細心の注意で、残された期間の事故をゼロにしよう。

### 土曜特集

**禁止地域に立ち寄らない**  
危険を思わせる箇所には、そのような立札が立てられている。警察、地区PTA、地元の人たちが細密に調べた結果の非難箇所だ。海水浴場をくむ池、川、用水路に立ち札を無視してこの水難事故が大半だ。  
四倉海水浴場のばい、禁止区域の表示箇所を、パトロールして監視しているが、かならずといってよいほど、泳いでいる人がいるという。親がついていて泳がせているケースもあるようだ。  
川や用水路は表示だけで監視はゆきとどかない場合が多いだけに、釣りにいく時でもかならず危険区域には立ち寄らないよう保護者のひと言が大切だ。



### 早急な安全対策を

いわき市平中塩を流れる江筋が三面舗装になったとき、安全通学から部落ぐるみで防護柵をつくった例があつたが、平スポーツセンター前県道ぞいを流れる江筋は、急流になったのに何ら手がうたれていない。交通・水難事故未然防止のための、ガードレールの設置、四面舗装などの早急な対策が必要だ。

### 潜在危険箇所の防護策

とんぼのきょうほでまで行ったやうに、こうした親心を無視して、子どもたちは冒険心と勇気の魅力から、ふたつ目のとどかない所までいく。  
いわき市平の物件分画は地好の遊歩場だが、築城工事の土音が響きだして危険なところもは立ち寄らせないでほしい。稲荷神社の旧参道がガクガクするから階段が中途切れ、うかつにおりて行った子どもたちの高さから脱落し、崖下地



お中元・ご贈答に 柏屋の和菓子

元祖 **薄皮餛飩**

創業116年・本店郡山<配達サービスいたします>

**柏屋** 平店

いわき市平・三町目・でんわ(4)6422

平公園下 **お写真 館林** 電話三三九六

小児科 **高久医院**

いわき市平字館町 東塩町 電話三三三三

**仏壇 仏具**

仏具の専門店 **橋本屋**

いわき市平・新川町1 (五町目 馬目染工隣) 電話3948









